

事業所名 児童デイサービス アノアノ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			定員に対するスペースは適切である。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			配置基準は満たしており適切である。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			バリアフリーになっている。児童にとってわかりやすいよう写真等を使用して環境を整備している。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			清潔に保持するよう消毒や清掃を徹底している。活動に合わせて床にテープを貼ったりし活動しやすいよう工夫している。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		役職者が中心となり業務改善を図っている。職員個々の目標設定や全職員が参画できるような業務計画書を今後、検討していく必要がある。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			評価表記載を依頼している。保護者の方からの意見等に対して改善していけるよう取り組んでいる。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			全職員が自己評価表の記載を行い、事業所として評価及び改善内容を共有している。保護者向け評価表と合わせて改善に取り組んでいる。ホームページにて公表している。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	実施していない。必要性については今後の検討課題。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		外部研修の機会を設けているが、参加者に偏りがみられる。外部研修を含め今後、内部研修の計画策定が必要。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			独自のアセスメントツールを使用。関係機関からの情報や保護者の要望等を聞き取り、作成している。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		独自のアセスメントツールを使用している。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			項目毎に、具体的に記載し設定している。適切な設定になっているのかアセスメント等の方法を都度、振り返る必要がある。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか		○		計画通りの支援が実施されているのかを日々、客観的に確認していく必要がある。

	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			児童発達支援管理責任者が主になって作成。必要な情報や意見、アイデアは職員間で意見交換し立案している。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節を取り入れた活動等、児童が楽しんで行えるよう工夫している。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			個々の状況に合わせた計画を作成している。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			事前に役割を分担している。当日に役割や支援内容について再確認している。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		特記事項や気付いた点等は支援終了後に情報共有している。振り返りの時間を必ず作れるようにしていく事が今後の課題である。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		必ず支援日誌に記載している。計画に沿った支援の検証や改善に繋がれるよう記載内容を工夫していく事が必要。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6ヶ月毎に実施。必要性がある際やご要望等あれば随時、実施。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が主として参画している。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		○		保護者の方を通し必要な情報共有や連携を図れるよう努めている。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			○	該当する児童はなし。医療的ケアの受け入れは看護職員の配置を整えていない為、受け入れられていない。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			○	該当する児童はなし。医療的ケアの受け入れは看護職員の配置を整えていない為、受け入れられていない。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか			○	保護者を通して幼稚園等と情報共有を図っているが、継続的に相談し合える関係性を今後は築いていく必要がある。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか			○	保護者を通して小学校等と情報共有を図っているが、継続的に相談し合える関係性を今後は築いていく必要がある。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	児童発達支援センターの研修に参加している。積極的に関係性を築けるよう努めていく必要がある。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	実施していない。必要性があれば今後、検討していく。

	⑳ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		交流会に参加した事はあるが、頻度は少ない。積極的に参加し協力体制を築いていく事が必要。
	㉑ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時やモニタリング面談にて計画内容や現状の確認、今後の支援の方向性等について話している。又、連絡帳でのやりとりや必要に応じ電話連絡を行い、共通理解を深められるよう努めている。
	㉒ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		研修等に参加し知識を深めて保護者の方の力になれるよう努めていく事が必要。
保護者への説明責任等	㉓ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に丁寧に説明している。
	㉔ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			利用開始前の契約時に児童発達支援管理責任者が説明し同意を得ている。意見や要望等あれば随時、修正し説明している。
	㉕ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		必要に応じて行っているが、十分な助言等の支援が出来ているか不明。今後、より一層、関係性を築き力になれるよう努めていく必要がある。
	㉖ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者会等は実施していない。保護者同士の連携を支援する取り組みは今後の検討課題。
	㉗ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			相談や要望等の申し入れがあった際は迅速に対応している。苦情解決体制については契約時に重要事項説明書を用いて説明している。
	㉘ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、活動内容等の案内を発行している。保護者の方のご要望に沿った内容にしていくよう努めている。
	㉙ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			個人情報が入ったファイルは鍵付きの書庫に保管している。児童に関わる個人情報についての取り扱いについては職員間で周知及び徹底している。
	㉚ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			児童への意思疎通に関しては、わかりやすい声がけや視覚支援を取り入れている。保護者との情報伝達は誤解や伝え漏れがないように努めている。
	㉛ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		避難訓練時には町内会の方へ周知している。招待するような行事等の開催については検討課題。
	非常時等の対応	㉜ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○	
㉝ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			○		火災想定での避難訓練は年2回必ず実施しているが、風水害などの災害訓練は未実施の為、今後の検討課題。
㉞ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか		○			服薬状況や予防接種等の情報は事前に確認している。てんかん発作等の対応についても保護者と確認している。

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか		○		アレルギーについては保護者より情報を得ている。医師の指示書を用いた事はない。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット・事故報告書はデータ及びファイルに纏めている。必ず、全職員が回覧し情報共有を図っている。
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年2回、虐待防止・身体拘束についての研修を実施。又、毎月、個々に振り返りシートを記入し虐待予防・啓発に努めている。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○		対象となる児童は該当なし。計画に記載した事はない。虐待防止の研修にて身体拘束についての取り決めについては確認している。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。